

## 屋外気圧取入れ口 SPH10/20 大気圧測定用



屋外気圧取入れ口SPH10/20は設置も簡単です。写真はSPH10に気圧計PTB210を取付けています。

### 特長

- 風の影響による気圧測定誤差を最小限に抑制
- どんな天候でも信頼性の高い気圧測定が可能
- 効果、強度は風洞試験で実証済み
- 設置や清掃が容易

風による測定圧力の変動は、大気圧測定誤差の主な原因の一つです。突風や強風による測定値のふらつきは、気圧計に気圧取入れ口（スタティック・プレッシャーヘッド）を取付けることによって抑えることができます。屋外気圧取入れ口SPH10/20は、風の影響による気圧測定誤差を最小限に抑える設計です。その構造は、水平方向にも垂直方向にも対称になっており、あらゆる天候下でも信頼性の高い気圧測定を行えることが、風洞試験で実証されています。

### 屋外設置の理想的な構造

屋外気圧取入れ口は2種類。SPH10はヒーターなし、SPH20はヒーター付きタイプです。SPH20は雪氷環境用で、結氷のおそれがある温度になるとヒーターのスイッチが入り加熱して結氷を防ぎます。

耐紫外線PC樹脂とアルミニウム合金で構成されているSPH10/20は丈夫で、荒天に対しても強い耐性を備えています。雨水やパイプでの結露による毛細管浸水は圧力誤差部を引き起こしますがSPH10/20は水や結露水に対しても保護対策がとられています。下側のプレートに開けられた孔により雨水や結露水は流出します。また、プレート内側にネットが張られており、昆虫などによるパイプ部の詰まりを予防しています。

### メンテナンスフリー

SPH10/20は現場における定期点検・清掃の際の取外しも容易です。また、ヴァイサラの気圧計PTB210はSPH10/20の頂部に直接取付けることができます。その他の気圧計もチューブによりSPH10/20と接続することができます。

SPH10およびSPH20は気圧計と組み合わせて、あらゆる天候条件の下で、信頼性の高い測定を可能にします。

# 技術情報

## 一般仕様

使用温度範囲	-60~+80℃
質量	
SPH10	800g
SPH20	1360g
材質	PC樹脂、アルミニウム
取付け方法	ボルト2本 (M6×最小20mm)
気圧チューブ接続部	タケノコ継ぎ手 (内径4mmチューブ用) またはRp1/4ネジ

## SPH20

結線	M12コネクタ
供給電源	
工場出荷時	12VDC
設定可能	24VDC
サーモスタット作動温度	
オン	+4℃ (±3℃)
オフ	+13℃ (±3℃)
ヒーター使用時の消費電力	約70W

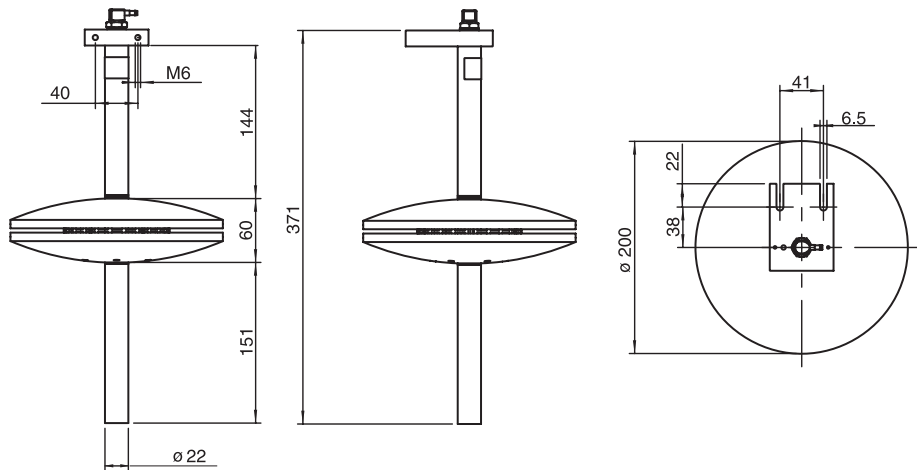
## 外形図

単位：mm

仕様は予告なく変更することがあります。  
©Vaisala Oyj



SPH10



SPH20

